

祭 事

歳旦祭	1月1日	例	祭	10月23日
節分祭・除厄祭	2月3日	七五三参り		11月中
祈年祭	3月(第一日曜日)	新嘗祭		11月(第二日曜日)
癒封治護身祭	5月3日	ゑびす祭		11月20日
大祓	6月30日	お火焚祭		12月15日
佐伯郷燈籠祭	8月14日	大祓		12月31日

◇◇◇ 年中諸祈願受付けます ◇◇◇



佐伯郷燈籠祭

太鼓掛け：神輿を大太鼓にぶつける勇壮な神事

『五穀豊穡祈願丹波佐伯の燈籠まつり』

毎年八月十四日に行う四社合同の夏祭りは「丹波佐伯郷の燈籠祭」と呼ばれ、食べ物の豊作を祈願する平安朝以来の大祭。平安時代に御所より当社に奉納された「五基の神燈籠」には一年間の農作業を五場面にあらしめ神輿や太鼓と競演する五穀豊穡祈願の夏祭りです。

平成21年3月、祭り全体が国の重要無形民俗文化財に指定されました。



燈籠吊り神事



御所より奉納された五基の神燈籠



人形浄瑠璃

日本一小さい串人形を操り浄瑠璃の語りに合わせて台燈籠の上で演ずる人形芝居。

発生は室町時代に遡る人形の台語りに由来する。



ご案内図



〒621-0033 京都府亀岡市神田野町佐伯垣内亦1
TEL 0771-22-4549

駐車場 有り(10台) ※大型車でお越しの場合はご連絡下さい。

アクセス

【バス】 JR亀岡駅より湯の花温泉行きバス「佐伯」下車、徒歩3分。

【タクシー】

JR亀岡駅よりタクシーで約10分。

【お車】

亀岡I.C.より車で5分。



神田野神社

延喜式内

創建 和銅二年(七〇九年)

御祭神

保食命(うけもちのみこと)

大山祇命(おおやまづみのみこと)

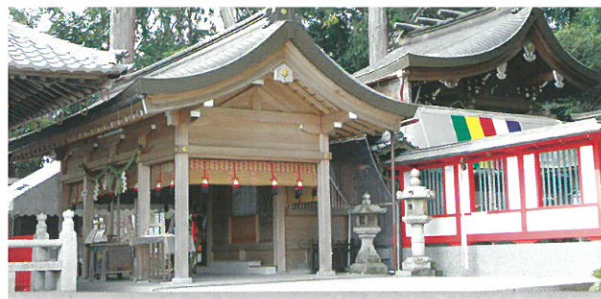
野稚命(のちのみこと)

五穀豊穡祈願佐伯郷灯籠祭(八月十四日斉行)

【国指定重要無形民俗文化財】



平安神宮大鳥居に次ぐ京都府二番目に大きい鳥居



御本殿

約三千年程前、此の地に住み着いた人々が、現在社殿の裏にある土盛りの処で、食物の神、野山の神を祭り、原生林を切り拓き田畑を造り、収穫した穀物を供え、作物の豊作と子孫繁栄の祈りを捧げるようになりました。

それから時が流れ、大和朝廷の基礎が出来上がった和銅2年(709)、丹波国守大神朝臣伯耆が朝廷の指示によって土盛りの前に社殿を造営し佐伯郷の産土神として祭り、国の安泰と五穀豊穡を祈りました。これが稗田野神社の起りです。



最初に神をまつたとされる土盛

稗田阿禮社

古事記の編集に重要な役割を果たした稗田阿禮がこの地に住んでいたという伝説を大切に、御鎮座壱千参百年記念に稗田阿禮をおまつりました。

文学・学問・芸能・学業成就・縁結びの守護神です。



和銅禊の池

創建当時の里人がこの池に禊ぎして豊作と無病息災を祈ったと伝わる禊ぎ池。今では手を漬けて禊ぎにかえる人が多い。



癌封治瘤の木

癌病が騒がれた頃、この神社を訪ねた植物学者が「この瘤のある樫の木は、木の癌病です。この瘤を一心籠めて撫でると、癌に罹らないし、人間を癌から守ってくれます。世の人達に知らせて下さい」との言葉があったことから癌封治が始まりました。



【稻荷神社】

京都府伏見稻荷大社より勧請。宇迦之御魂神を御祭神とする。

健康の庭長寿の滝

往古この地方には赤い(丹の)水の波立つ「丹波国」と呼ばれていました。境内から湧き出る水には往古の色が見られます。御神殿の中を潜る事により霊験あらたかな長寿の滝となって龍の口から噴出しています。



必勝願掛け石

自分が最後までやりきる気力を授かる。自ら頑張る意欲を高めると言う石。石に両手をあてて一心に念じながらパワーを授かる。



商売繁盛 系びす神社

大阪府今宮戎神社より勧請、事代主命を御祭神とする。



石の環ぐり

願い事を念じながらくぐると願い事を達成する体力を授かるという石の環。



【京式八角石燈籠】

源義経奉納と伝わる燈籠。鎌倉時代を代表する石像美術品。



【春日神社】

奈良春日大社より勧請。建御雷之神・天児屋根命を奉る。

《幸魂奇魂》の魂石

幸せな日々の暮らしを戴く神の恵みを幸魂と言い、イチローが殊勲の安打を放った後「神が降りた」と言ったように奇しくも不思議な神の恵みを奇魂と言います。

この魂石は岡山県産の北木石で出来ていて靖国神社の石鳥居や大阪城の石垣と兄弟石です。頭部の宝珠は御祭神の縁にちなみ伊勢神宮外宮正殿欄干の宝珠の形に模して刻まれています。

